

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム中小田井

目標達成計画

作成日: 令和 2年 10月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 職員都合で自己決定を否定してしまったり、意思の表出を妨げてしまっている場面がある。	利用者様の意思を尊重することができる。	危険性がないか注意しながら意思の表出や自己決定を推すことができるように意識改革を行なっていく。	6ヶ月
2	26	○チームでつくる介護計画とモニタリング 共有した情報を介護計画に活かすことができていない。	ベストなタイミングで介護計画の更新を行なっていく。	ユニット職員と情報共有し、計画作成担当者が中心になり随時介護計画の見直しを行なっていく。	3ヶ月
3	48	○役割、楽しみごとの支援 コロナ禍で今までのレクリエーションではリスクがあり、行事も見送っていることが多い。	感染のリスクが少なく、楽しめる行事や役割を提供することができる。	職員でアイデアを出し合い、現状に適合したレクリエーションや行事、役割を考えていく。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。